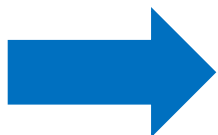


地域の わ 通信

Kanagawa-ku
Chiiki ryoku

神奈川区の庁舎内向けに、区内の地域情報や地域支援に関わる業務などを紹介します。

区政推進課 地域力推進担当 411-7026



第3期 神奈川区地域づくり大学校

第4講 12月10日(日) 9:30~12:30 神奈川区役所



自分たちの手で始めるまちづくり

地域づくりの手順

大学校の卒業制作にあたる「夢プラン」づくりに取り掛かった第4講。
講の前半は、これまで学んできた第1~3講の振り返りと、羽沢地区自治連合会の岐部会長から高齢者サロンの取組について話を聞きました。
後半は、市民セクターよこはまの吉原さんから「地域づくり5つのステップ&夢プランシート」の作成について」の講義を受け、これから具体的に考えていく「夢プラン」づくりのヒントをもらいました。その後、自分が地域で実現したい「夢プラン」の骨格を考えながら、受講者同士で「夢プラン」について意見交換をしました。

第4講概要

日時：12月10日(日) 9:30~12:30
場所：神奈川区役所
主催：神奈川区連合町内会自治会連絡協議会
認定 NPO 法人市民セクターよこはま
神奈川区役所
協力：社会福祉法人横浜市神奈川区社会福祉協議会
受講者：24名(第4講参加は17名)

当日のプログラム

- 第1~3講ふりかえり
- 活動報告「さくらサロンの取組について」
岐部 文明 氏(羽沢地区自治連合会 会長)
- 講義「地域づくり5つのステップ&夢プランシート」の作成について
吉原 明香 氏(市民セクターよこはま 事務局長)
- グループワーク：書いてみよう編/プラン共有編
- 支援制度に関する情報提供

■ 【活動報告】 さくらサロンの取組について

(羽沢地区自治連合会 岐部会長)



宮向団地は、65歳以上が全体の43%という高齢化率が高い団地です。特に引きこもりがちな高齢の男性が多いという課題があり、地域の核となって活動をしている女性に協力を願い、サロンを開設しました。地域の福祉施設を巻き込み、お楽しみで交流しながら気楽に健康チェックや介護の相談ができるサロンです。

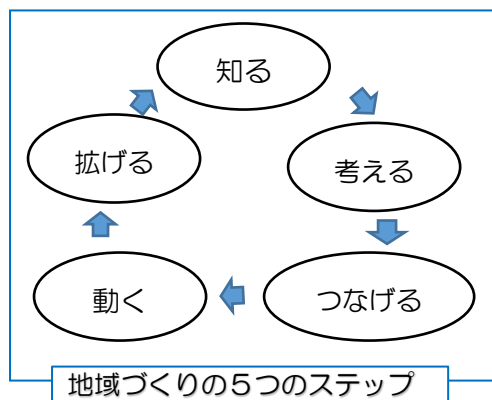
会場は自治会集会所を使い、お菓子やお茶を用意し、囲碁、将棋、オセロ、トランプなど、部屋を分けず一つの部屋で交流ができるようにしています。また、自分や家族の困りごとなどを相談できるコーナーも同じ部屋にあることで、交流の途中で相談に行ってもあまり目立たず、気楽に相談できる雰囲気があります。

活動を楽しむ秘訣は、「ハードルを下げる」「肩ひじを張らない」「失敗してもいい。やってみて、変えていく」など無理せず活動することだと思っています。

■ 【講義】 地域づくりの5つのステップ

(市民セクターよこはま 吉原事務局長)

市民セクターよこはまの吉原事務局長より、地域づくりを始めるにあたり「有効な5つのステップ（知る・考える・つなげる・動く・拡げる）を学び、「夢プラン」シートの書き方について、ポイントを聞きました。



地域づくりは、その歴史と資源を知ることから始めましょう。地域には宝がたくさんあり、課題はその一部に過ぎません。3人の仲間が集まれば活動は始められます。小さくはじめて、動きながら考え改善していき、重荷にならないスタンスが大切です。

「夢プラン」づくりのポイントは「あったらいいな」を形にすること。実行する現場をイメージして、得意を活かして仲間（3人）のできることは何かを考えてみてください。

■ 【グループワーク】 夢プランづくりはじめの一歩

書いてみよう編 / プラン共有編



これまでの学びを活かし、自分の地域でやってみたいことを「夢プラン」シートに描き始めました。岐部会長のサロン取組の話や、吉原事務局長の地域づくりのステップについての学びもあり、「夢プラン」を書く上で自分の考えがまとまってきた様子でした。中にはまだイメージが浮かばない方もいましたが、グループワークで意見交換をしながら自分なりの想いをシートに書くうちに、受講者の考えが徐々に具体的になってきたようでした。

また、活動を始めるにあたり必要な支援制度や、活動を応援する区民活動支援センターの紹介をし、受講者が活動に入りやすくするための情報提供もしました。